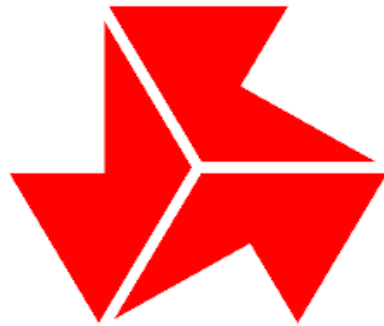


第73回

広島県高等学校定時制通信制

総合体育大会(バドミントン)

令和8年6月14日(日)



主催 広島県高等学校体育連盟  
共催 広島県教育委員会  
後援 広島市教育委員会  
広島県高等学校定時制通信制教育振興会  
公益財団法人 広島県スポーツ協会  
公益財団法人 広島県教育事業団

# ◎ バドミントンの部

部長 奥原義尚

会場 広島県立賀茂高等学校 体育館

副部長 都郷 真由美

開場 9時15分

競技代表 渡邊 亮太

監督会議 9時30分

副競技代表 吉廣 海

開会式 次第  
1 開会宣言  
2 優勝杯返還  
3 大会部長挨拶  
9時45分 4 競技上の注意

審判長 神垣 裕朗

競技開始 10時10分

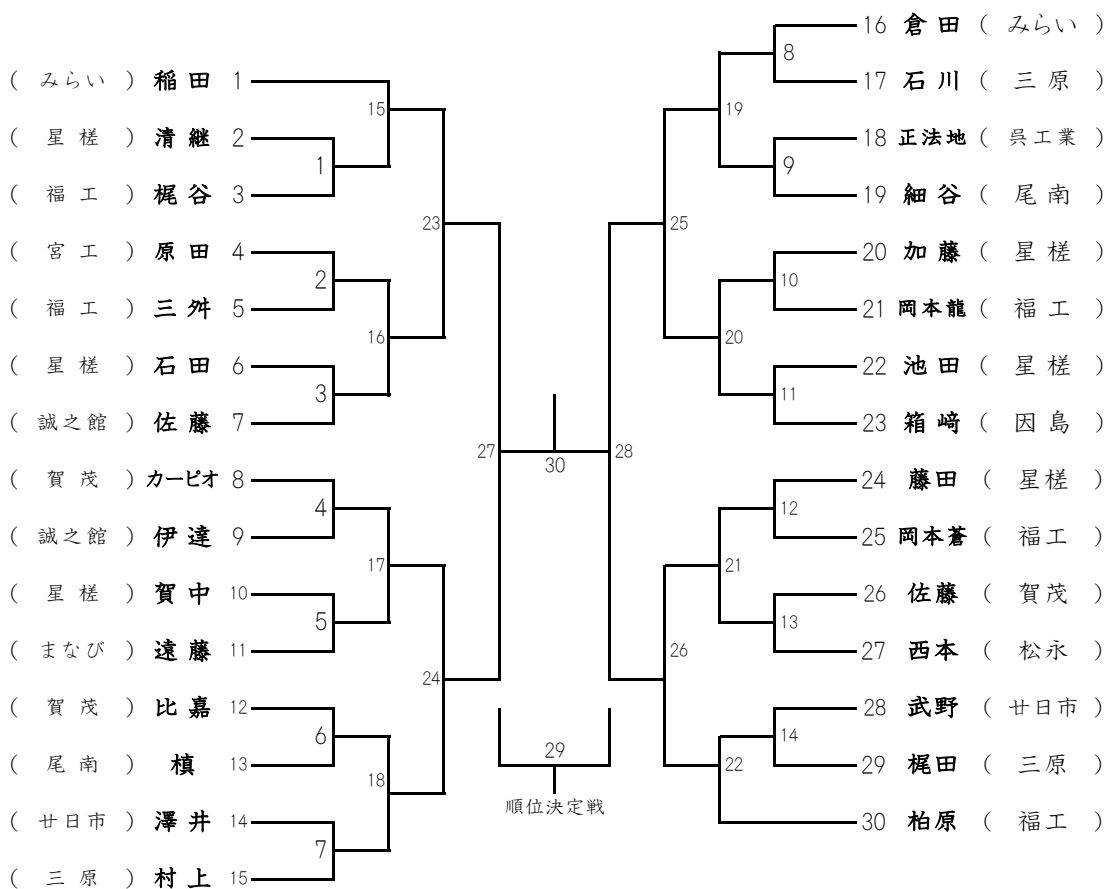
閉会式 次第  
1 成績発表  
2 表彰  
3 大会部長講評  
17時00分 4 閉会宣言  
(予定)

競技委員 朽木康浩 安本直史 渡邊亮太 宮本秀樹 越智綾乃  
塩崎夏実 山口茉生央 森川恭子 仲喜弘 村上知枝美  
木村和也 佐々木政則 田原日月 割方遥花 松浦和彦  
小林寿理 得能剛彦 今井美貴 坂本幸子 池田千明  
松岡拓弥 片山幸太 早川裕子 中川悠希 門永真帆  
香川輝美 吉廣海 表上高志  
垣内一男 神垣裕朗 塩路恒生

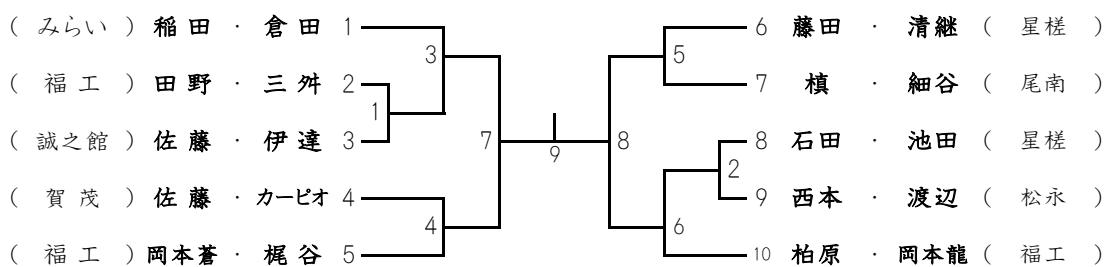
順不同

会場責任者 今井美貴

男子 シングルス



男子 ダブルス



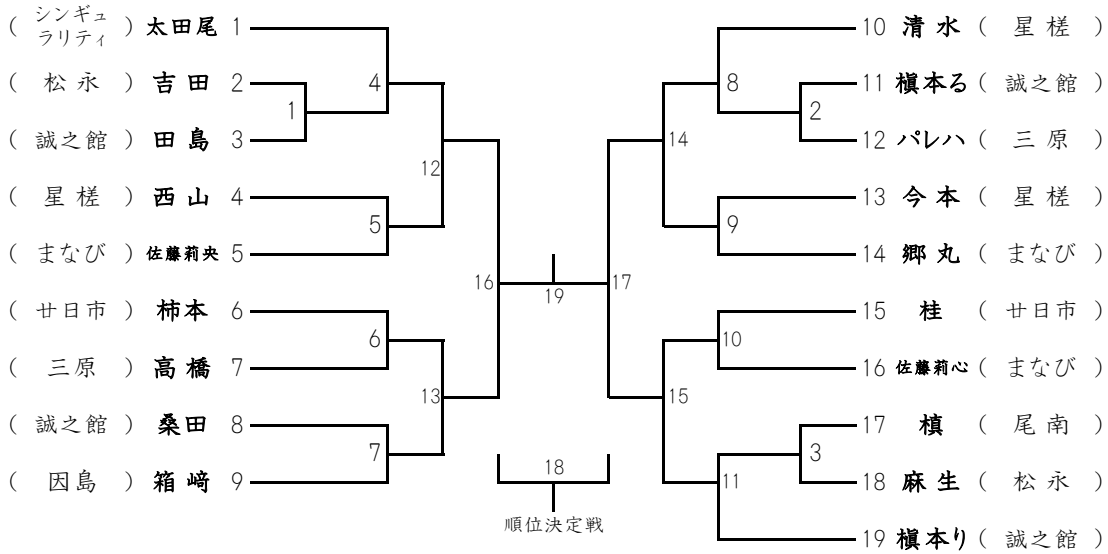
成績 シングルス

第1位	( )
第2位	( )
第3位	( )
第3位	( )

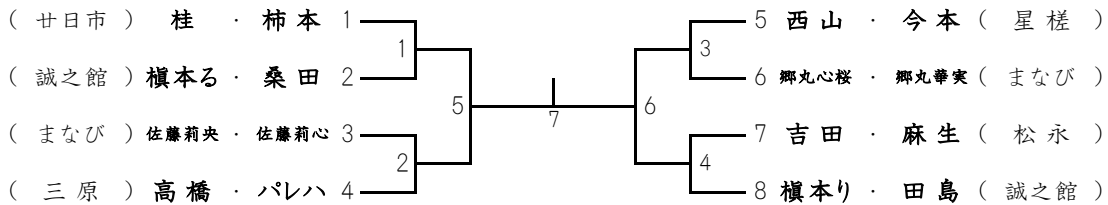
ダブルス

.	( )
.	( )
.	( )
.	( )

女子 シングルス



女子 ダブルス



成績 シングルス

第1位	( )
第2位	( )
第3位	( )
第3位	( )

ダブルス

第1位	・ ( )
第2位	・ ( )
第3位	・ ( )
第3位	・ ( )

成績 男女別学校対抗

男子

第1位	( )
第2位	( )
第3位	( )

女子

第1位	( )
第2位	( )
第3位	( )

**競技方法** 全国大会に準ずる(日本バドミントン協会競技規則適用)。

11点3ゲームマッチ、ラリーポイント制、2ゲーム先取、延長ゲームあり、トーナメント。

シングルスは準々決勝から21点3ゲームマッチ、ラリーポイント制、2ゲーム先取、延長ゲームあり。

ダブルスは決勝のみ21点3ゲームマッチ、ラリーポイント制、2ゲーム先取、延長ゲームあり。

男女別学校対抗の順位も決定する。得点は1位8点、2位5点、3位3点、5位1点とする。

**競技規定** 1 トスはじゃんけんで決める。

ゲーム終了時から60秒を超えないインターバルをとることができる。(21点ゲームは120秒)

2 21点ゲームの場合、11点に達した時点で60秒を超えないインターバルをとることができる。

3 シャトルがインプレーでない時のみ、試合中にアドバイスを受けることができる。

4 棄権は開会式までに本部に届け出る(パートナーの組替、選手の補充は認めない)。

5 コール後、5分以内に集合しない場合は棄権とみなす。

6 ゼッケン(B5版程度)は背面中央に、学校名・名前を明記する。

7 スポーツウェアの着用、体育館シューズの使用を徹底すること。

本大会は全国高校定時制通信制バドミントン大会の広島県予選を兼ねる。

(1)シングルス1位とシングルス2位の選手が個人戦の出場資格を得る。

8 (2)ダブルス1位と、それら2名を除くシングル上位の合計5名までを団体メンバーとする

※ シングルス3位になった2名は全国大会の優先順位決定戦を行う。

**注意事項** ・ 貴重品の管理は各自で行う。

・ 水分補給は認めるが、飲食は禁止(フロア内)する。

・ ゴミは各校で責任をもって持ち帰る。

・ 開会式の後に、5分間コートでの練習時間を設ける。

・ 大会終了後、全国大会資料を配付する。

・ 全国大会出場予定者(選手・引率教員)は大会後、本部へ集合すること。

・ 全国大会の大会要項は、全国定時制通信制バドミントン大会とWEB検索を行い

全国大会事務局のHPから確認すること。